

6 故障かなと思ったら

現 象	考えられる原因	対 応
ライトが点灯しない (センサーが反応しない)	電源が正しく供給されていない。	電源コードの接続および電源供給(ブレーカー)を確認する。
	センサーに向かって直進している。	設置場所や検知エリア、センサーの角度を調整する。 ※センサーは人の動きによる温度変化を検知するため左記の場合などは検知しにくくなる場合があります。
	寒いときや雨降りのときで、人がマフラーや傘で覆われている。	点灯開始照度を「昼」側に調整する。 他の照明器具の明かりが届かない場所へ移動する。
	夏場など周囲の温度と人体の温度差がすくない。	障害物を取り除く。または取付け場所を変更する。
ライトが点灯したまま消えない (センサーが反応し続ける)	ゆっくりとした速度で検知エリアに侵入している。	約2.5mの高さに垂直に設置する。
	周囲が明るい。(夜でも周囲に他の照明がある)	ウォームアップが終了するまで、エリア外で待機する。
	検知エリアがガラスや壁などに遮られている。	完全に検知エリアの外に出る。 検知エリアを狭い範囲に調整する。 取付け場所を変更する。
	本体が正しく設置されていない。	点灯時間を「25秒」側に調整する。
人がいないのに点灯する	電源投入直後のウォームアップ時間中	ウォームアップが終了するまで、エリア外で待機する。
	何らかの物体がセンサーに反応し続け、点灯時間が延長されている。	完全に検知エリアの外に出る。 検知エリアを狭い範囲に調整する。 取付け場所を変更する。
	点灯時間が「5分」側に設定されている。	点灯時間を「25秒」側に調整する。
	検知エリア内、または周囲に下記のような誤動作をする要因がある。 (例)他の照明器具の明かり、風で揺れる植木や洗濯物、旗など、犬や猫などの動物、エアコンの吹き出し口、ガス給湯器、強い無線ノイズなど	誤動作要因となっているものを検知エリア内から取り除く。
屋間なのにライトが点灯する	検知エリアが道路にかかっており、通行する自動車や人に反応している	検知エリアを狭い範囲に調整する。
	風や車の通行などで、センサーライトを取付けている柱などが振動している。	取付け場所を変更する。
	点灯開始照度の設定が「昼」になっている。	振動の影響を受けない場所に取付け場所を変更する。
	点灯保持時間の設定が「25秒」になっている。	点灯開始照度の設定を「夜」側に調整する。
ライトがすぐ消える または点滅を繰り返す	点灯保持時間の設定が「25秒」になっている。	点灯保持時間の設定を「5分」側に調整する。
	本機の発光方向に光を反射する障害物がある	光を反射する障害物を取り除く。

7 仕様

品番	ESL-SS401AC
検知方式	赤外線受動式
電源電圧	AC100V 50/60Hz
消費電力	約2.6W (待機時 約0.5W)
使用周囲温度範囲	－20℃～40℃
点灯保持時間	約25秒～約5分間
点灯開始照度	約5lx(夜)～(昼)
耐水性能	IP44(防沫型)/(直接雨のかかる屋外で使用可能)
電源コード長	約1.5m
光源	白色4W LED×1灯(全光束 約145ルーメン)
質量(電源コード含む)	約215g
付属品	取付ネジ2本、コンクリート用スリーブ2本、マスキングカバー1個

※LEDの交換は出来ません。
※商品の特性上、明るさや光の色にバラつきが出る場合がありますので、ご了承ください。
※万一、当社の製造上の原因による品質不良、不具合が発生した場合は新しい商品とお取替えいたします。それ以外の責はご容赦ください。
※仕様および外観、外装は予告なしに変更する場合がありますので、ご了承ください。

ELPA
ESL-SS401AC

防雨 4W LED
コンパクト センサーライト

取扱説明書
保証書付

お客様へのお願い

この度は、弊社商品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みいただき、正しく安全にお使いください。お読みになった後は大切に保管し、必要なときにお読みください。
保証書欄は「お買い上げ日、販売店名」などの記入を必ずお確かめください。

本品は強盗、盗難、空巢等の被害を未然に防ぐことを保証するものではありません。万一、被害などが発生しましても当社は一切の責任を負いかねますので予めご了承ください。

1 安全上のご注意

⚠ 警告

- 取付けはこの取扱説明書に従って確実に行ってください。
- 点灯中や消灯直後は器具に触らないでください。ランプやその周辺が過熱しており、やけどの原因となります。また、人が容易に手を触れることができる2m以下の場所には設置しないでください。
- 燃えやすいものや引火しやすいものの近くには設置しないでください。屋でも本体に布団や洗濯物等がかぶさると点灯し引火する恐れがありますのでご注意ください。
- 布や紙など燃えやすいものをかぶせないでください。火災の原因となります。
- 交流100V以外では使用しないでください。過電圧を加えると火災・感電の原因となります。
- 屋外で使用される場合、コンセントは防雨型をご使用ください。コードの延長が必要な場合は、必ず防雨型の延長コードをご使用ください。
- 電源コードを傷付けたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしないでください。火災、感電の原因となります。
- また、重いものをのせたり、ステップル等で挟み込んだりするとコードが破損する場合がありますのでご注意ください。
- 電源プラグの抜き差しは、コードを持たずに必ず先端プラグ部を持って抜き差ししてください。電源プラグが破損し、断線やショート、感電、火災、故障の原因となります。
- 感電の恐れがありますので、濡れた手で電源プラグの抜き差しをおこなわないでください。
- 電源プラグは確実に差し込んでください。確実に差し込まれていないと感電や発熱による火災の原因となります。また、傷んだプラグや緩んだコンセント等は使用しないでください。
- 電源プラグを差し込んだままにすると、たまったホコリにより火災に至るおそれがあります。定期的にプラグを抜いて、乾いた布でホコリを取り除いてください。また長期間で使用にならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 設置時やお手入れ、点検等の際は必ず電源プラグを抜いてから行ってください。感電事故の原因になります。
- 異常を感じた時は速やかにコンセントから電源プラグを抜いてください。煙が出たり、異臭がしたままの状態で使用すると火災や感電の原因となります。速やかに販売店もしくは当社まで修理をご依頼ください。
- 本機は防雨構造ですので通常の雨や風には耐えますが、大量の水がかかる場所や湿気の多い浴室などでは使用できません。※防雨構造はIP44電気機械器具の保護等級に適合します。
- 正面から見て本体が地面に対して斜めになったり、逆さまになるような取付けをしないでください。検知機能に異常をきたすうえ、浸水による故障や漏電の原因となります。また万一落下しても事故の起こらない場所に取付けてください。
- 視力を損なう恐れがありますので点灯中のライトを直視しないでください。
- 改造、分解しないでください。また指定用途以外での使用や、指定外の取付部品を使用しないでください。

⚠ 注意

- 温度の高くなるもの(ガス機器やその排気口、エアコン室外機など)の近くには取付けしないでください。
- 本機をベンジンやアルコール、シンナーで拭いたり、殺虫剤を吹きかけないでください。変色、変形、ひび割れの恐れがあるほか、引火、感電の原因となります。
- 不安定な場所に取付けしないでください。落下などによるけがや火災の原因となります。取付け後、しっかり固定されているか必ず確認してください。

2 各部の名称と付属品

本体

LED

検知センサーレンズ

電源コード (約1.5m)

取付ネジ穴 (2ヶ所)

別売ステンレスバンド 通し穴(上下左右4ヶ所)

調整ツマミ

25秒 5分

点灯保持時間調整
点灯時間を25秒～5分の間で調整できます。

夜 昼

点灯開始照度調整
周囲が明るいときにも検知～周囲が暗いときだけ検知させるように明暗センサーを調整できます。

底面図

付属品

- 取付ネジ(2本)
- コンクリート用スリーブ(2本)
- マスキングカバー(1個)

3 まず初めに

本体の設置をおこなう前に各機能が正しく動作するか動作確認をおこなってください。

①
点灯保持時間を「25秒」に、点灯開始照度を「昼」に設定し電源プラグをコンセントに差し込みます。
ウォームアップ(初期安定動作)が開始され約90秒間ランプが点灯します。
この間ランプは点灯したままになりますので、検知エリア外に離れてお待ちください。

②
消灯後検知エリアを横切るように歩きランプが点灯することを確認します。続いて検知エリア外に移動すると約25秒後にランプが消灯することを確認します。

③
点灯保持時間調整ツマミをまわして、点灯時間が長くなることを確認します。続いて点灯開始照度を「夜」側に設定し、周囲が明るい場合に点灯しないことを確認します。

＜動作確認完了＞

ウォームアップ(初期安定動作)について

電源プラグをコンセントに差し込んだときは、点灯開始照度の設定に関わらず、約90秒間ランプが点灯します。これはセンサーが安定動作するまでの初期動作で、故障ではありません。

4 取付け

取付け上のご注意

※センサーは周囲の明るさと温度変化を検知します。
下図のような場所に取付けると誤動作したり、動作しない場合があります。

◆風などで揺れ動く、植物や洗濯物などの近く

◆エアコン室外機などの送風を受ける所

◆大理石やガラスなど光の反射を強く受ける所

◆ガラスや壁越しの所

◆夜間でも明るい街路灯の近辺

◆強い振動を受ける所

◆電波の強い所

◆極端に高い所や低い所

◆車の通る道路に面した所

◆本体が地面に対して水平にならない所

センサーの特性上、以下の点にご注意ください。

◆犬や猫などでも反応します。

◆夏場などの人体表面温度と周囲温度の差が小さい場合は、検知しにくくなります。

◆センサーに対して直進方向の移動やゆっくりした移動は、検知感が鈍くなります。

本体の取付け方法 ▲ 万一落下しても事故の起こらない場所に取付けてください。

ネジで取付け
付属の取付ネジ(2本)で壁に取付けてください。

別売ステンレスバンドによる取付け
(弊社型番ESL-SB)
(直径約260mmまで取付け可能)

ステンレスバンドの構造上、一度締め付けるとゆるめる事はできません。
※ケガをする恐れがありますので作業用手袋を必ず着用してください。

① 本体のステンレスバンド通し穴(上下または左右の2箇所)にステンレスバンドを通します。

② バンドを取付箇所(ボールなど)に巻付け、先端をシャフトの間(シャフトは2枚構成)に通して、バンドにたるみのない程度に張ります。

③ バンドを適当に張り、ハンドルを90度起こして仮止めします。

④ 仮止めができたらバンドの余長をシャフトから3cm程度のところで切断します。ベルトの端末は外に出ません。

⑤ ハンドルを反転回復させる(ラチェット機構なのでバンドを巻取る)とベルトはゆるむことなく十分に締まります。※締めすぎると⑥の工程でハンドルが倒せなくなりますので、ご注意ください。

⑥ バンドが十分に締まったところでハンドルをベースに重なるまで倒して、ストッパーにかしめこんで完了です。

5 各種調整

検知エリアについて

検知エリアは目安です。気温、服装、移動速度、侵入方向、体温、器具の設置状態などにより大きく変化します。

【平面図】 検知エリアを上から見た図

【側面図】 検知エリアを横から見た図

取付け高さ 2.5m
約10m
気温:20℃
湿度:50%

センサーは検知エリア内の温度変化を検知するため、人以外の熱源(動物・車など)も検知します。
※検知エリアの外側でも人より大きな熱源(車など)が移動した場合は検知することがあります。
※センサーに向かって正面方向から接近した場合は、検知距離が極端に短くなります。
※検知エリアにゆっくり侵入した場合、検知しなかったり、検知距離が短くなります。
※夏場など人体表面温度と周辺温度の差が少ない場合は、検知しにくくなります。
※冬場にマフラー、ニット帽などで完全防寒すると肌の露出が少なく、衣服の表面温度と外気温の温度差が少なくなり検知しにくくなります。

センサーレンズの検知方向の調節

※故障の原因となりますので90°以上回さないでください。

左右各90°

マスキングカバーの使用(検知エリアの調節)

センサーの検知エリアを狭くしたい場合は、付属のマスキングカバーで調節してください。マスキングカバーを取付けると、カバーで覆われた部分はセンサーが検知しなくなります。

＜例1＞検知距離を短くする
カバーを取付けない状態
検知エリアが短くなる
この部分の検知エリアがカットされ距離が短くなります。
【検知エリア平面図】
【検知エリア平面図】
ニッパーなどを使ってマスキングカバーの下面を切り取ります。

＜例2＞検知角度を狭くする
カバーを取付けない状態
検知エリアが狭くなる
この部分の検知エリアがカットされ角度が狭くなります
【検知エリア平面図】
【検知エリア平面図】
ニッパーなどを使ってマスキングカバーの中央部分を切り取ります。

■装着方法
検知センサーレンズの中心
マスキングカバーの中心
① レンズとマスキングカバーのそれぞれのツメが干渉しないように、マスキングカバーを少しずらして装着します。
② マスキングカバーを回転させ、中央にスライドさせます。

点灯保持時間の設定

センサーが検知しなくなってから消灯するまでの時間を設定できます。

25秒 5分

約25秒～約5分の間で設定できます。

※センサー検知エリア内で人や動物が動き続けると、センサーが再検知し点灯時間は延長されます。
※出荷時は約25秒に設定されています。

点灯保持時間調整ツマミ

点灯開始照度の設定

センサーが検知を開始する明るさを設定できます。

夜 昼

[夜]周囲が暗くなってから点灯します。
昼間などの明るい時間は点灯しません。
[昼]周囲の明るさに関係なくセンサーが検知すると点灯します。

※出荷時は[昼]に設定されています。

点灯開始照度調整ツマミ

照射方向の調整

ライト部と本体を持って上下、左右に照射方向を調整してください。

下方向 約45度可変
左右方向 約160度可変

※故障の原因となりますので左記角度以上に回さないでください。